知床博物館ニュースレター No. 375

タンネウシ

3月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

ロビー展「蜃気楼・幻氷写真展 ～蜃気楼ハンター星弘之の世界 vol.2」

福島県のアマチュア写真家・星弘之さんによる幻氷の写真展を、昨年に引き続き開催します。今回は、流氷の上位蜃気楼「幻氷（げんぴょう）」だけでなく蜃気楼の写真や動画も加えパワーアップしています。蜃気楼は空気の温度差によって遠くの景色が不思議な形に見える現象です。約50年間蜃気楼の撮影を続けている星さんが捉えた決定的瞬間にご注目ください。あわせて、かつて知床博物館に勤務していた佐藤トモ子さんや町内在住の仲間の蜃気楼写真も展示します。▶会期：3月16日（木）~4月6日（木）▶場所：交流記念館ホール※ロビー展のみの観覧無料。

海上に現れた幻氷

3年ぶりにカフェを開催します「蜃気楼・幻氷カフェ」

写真展に先駆けて、星さん・佐藤さんから蜃気楼と幻氷の魅力をたっぷり語っていただきます。全国各地の最新情報や、蜃気楼の謎の解明など、超レア映像を交えながら紹介します。▶日時：3月15日（水）18：30～20：00▶場所：交流記念館2F応接室▶講師：星弘之（蜃気楼ハンター）・佐藤トモ子（気象予報士、知床蜃気楼・幻氷研究会代表）▶参加費：大人200円（協力会員無料）▶定員：13名（要申込み）▶特典：写真展の先行観覧可能。

2023会員バスツアーの報告

鶴居村のタンチョウ

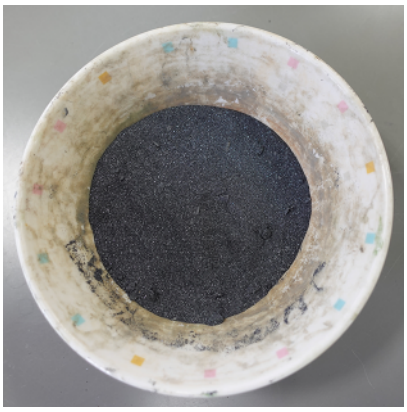
1月29日(日)に博物館協力会バスツアーを開催しました。当日は15名の会員にご参加いただき、鶴居村にある「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」へタンチョウを観察に行きました。現地では日本野鳥の会のスタッフにガイドをしていただき、かつて絶滅の危機に瀕したタンチョウが現在の数へ復活した軌跡を学びながら、大空に飛び立つ美しいタンチョウの姿を見ることができました。また来年度も、魅力あるツアーを実施していきますので奮ってご参加ください。

収蔵資料展示「昭和の計算機」

電気や電池を使わず、機械的なカラクリのみで計算をする手廻し式タイガー計算器、歯車で数値を累計し計算する円筒状の小型手廻し式クルタ計算機など、懐かしい昭和の計算機を展示します。▶会期：3月8日(水)~4月2日（日）▶場所：本館受付前※この展示のみの観覧無料。

手廻し式タイガー計算器

学芸員のイチオシ



岩石用研磨剤カーボランダム

石英成分の酸化ケイ素とコークスを電気炉で反応させて作ります。黒色で一見砂鉄に見えます。ダイヤモンドに次ぐ高い硬度で、岩石を削る際の研磨剤として粗い粒子から細かい粒子へと段階的に使われます。（合地）

休館日　3月6日(月)、13日(月)、20日(月)、21日（火・祝 日）、27日(月)